学校番号	T3003

平成３１年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2	年次	2
使用教科書	光村出版「書Ⅰ」						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことをふまえて、様々な表現をすることを楽しみ、書・その他の芸術にも興味を広げましょう。
・様々な書体があることを認識して、臨書や鑑賞を味わいましょう。
・筆の弾力を使いこなし、表現の幅を広げましょう。
・字による自分らしい自分だけの作品を作ることで達成感を味わい、「書」に対する関心を深めます。

2　学習の到達目標

・書道を通して、感性を高め、書写能力の向上と芸術的表現、鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
・書の歴史と文化についての理解を深め、古典を基本に、臨書・創作・作品制作や鑑賞を行う。
・古典を基本とするが、個人の表現を制限しすぎない。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の理解	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の総力
観点の趣旨	「書」の歴史と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	「書」の美しさや楽しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	「書」の表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	「書」の効用やその価値を考え、「書」の活用の場を創造的に味わっている。
評価方法	出席 観察 課題	観察 ワークシート 課題 作品	観察 課題 作品	観察 課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	書写から書道	○書写から書道へ ・書写と書道の類似点・相違点 ・書体の変遷 ・文字に興味を持つ	○		○	○	a：書写と書道の類似点・相違点について興味を持っている。 b：道具の知識・扱い方を理解し、書道に対する姿勢や執筆法の基本を身に付けている。 c：書写と書道の違いを理解し、意欲的に取組んでいる。 d：書写での基礎・基本を踏まえ、さまざまな書のよさを味わって課題の中に表現できている。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
	漢字の書	○漢字の書 ・楷書・行書の理解 ・古典臨書の活用	○	○	○	○	a：楷書・行書の表現の違い・基本的な用筆方法をについて理解している。 b：各書体における様々な書風やその用筆法を理解し、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 c：古典の臨書を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。 d：代表的な書体の古典を知り、そのよさや美しさを表現している。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
	漢字の書（硬筆）	・楷書と行書 ・ﾎﾞｰﾙﾍﾟﾝ、万年筆による実用的なもの		○	○	○	a：楷書・行書の表現の違い・基本的な用筆方法をについて理解している。 b：正しい姿勢で、用筆法・スピード・リズムを考えながら取組んでいる。 c：ﾎﾞｰﾙﾍﾟﾝ、万年筆を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。 d：ﾎﾞｰﾙﾍﾟﾝ、万年筆を用いて、日常生活のあらゆる場面と構成を考えて書こうとしている。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
後期	漢字の書（行書）	○漢字の書 ・楷書・行書の理解 ・古典臨書の活用	○	○	○	○	a：楷書・行書の表現の違い・基本的な用筆方法をについて理解している。 b：各書体における様々な書風やその用筆法を理解し、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 c：古典の臨書を用いて、各書で利用する用筆方法を身に付け表現している。 d：代表的な書体の古典を知り、そのよさや美しさを表現している。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品

後期	漢字創作	○色紙一字書 ・色紙作品制作 ・語句 の選定	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	篆刻（名印制作）	○篆刻 ・自分の名前調べ（篆書体） ・名前の印の制作 ・印刀を使っての作業	○		○	○	a:字典を使った名前の篆書体調べを通じて、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における「分間布白」を理解し、表現を工夫している。 c: 印づくりにおいて、安全に作業し、的確に印刀を使うことができる。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを作品に表現している。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	仮名の書	○仮名の書 ・基本的な用筆 ・連綿・変体仮名の理解 ・古典臨書	○	○	○		a:仮名の成立に興味・関心をもち、仮名の種類について理解しようとしている。 b:仮名の綿質の特徴を捉え、それを表現するための用筆・運筆を習得している。 c: 古筆に表れる連綿・変体仮名の効果を理解し臨書しようとしている。 d:古筆の線の美や作品の字形や構成の調和を味わえている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品
	漢字仮名交じりの書	○漢字仮名交じりの書 ・語句の選定 ・構成と書体の工夫 ・半紙～半切１／２作品制作	○	○	○	○	a: 漢字仮名交じりの書で創作・表現することに関心をもち、工夫した作品を作ろうとしている。 b:表現のねらいを明確に定め、習得した知識・技能を生かして構成を考えられている。 c: 自らの力で試行錯誤できている。 d:さまざまな作品を鑑賞し、工夫を捉えることで自分の表現への生かし方を考えている。	出席 観察 ワークシート 課題 作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書の表現の理解
　　c:書の表現の技能　　d:創造的な表現と取組み

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。